



ヒメオドリコソウ

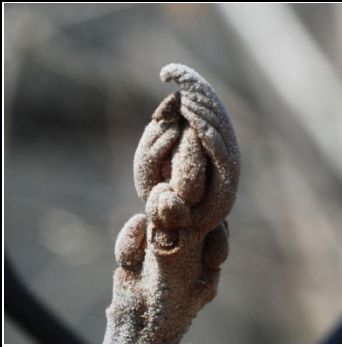
見沼自然散策

2026.2.11

見沼たんぼ地域ガイドクラブ



カワセミ



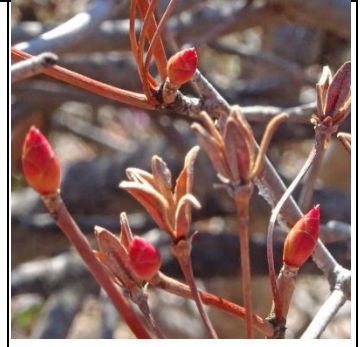
アカメガシワ



コブシ

←コブシの芽はふわふわの毛がついた芽鱗で守られている。

木々は春に伸ばす芽を前年の夏から用意している
立春を過ぎたところから春に向けての準備を開始、根から水分を吸い上げる



ドウダンツツジの実



シナマンサク



ウメ

アキニレの実は平べったく、風に飛ばされるが、地面に落ちた実はカモたちの獲物。

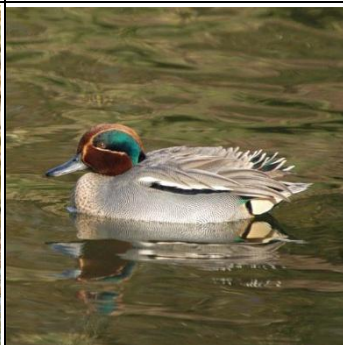
カモは陸に上がって草を食べたり実を拾ったり。
岸辺で寝るカモたちも



アキニレの実



オオバン



コガモ



ヒドリガモ



オナガガモ



アオジ



メジロ



ウソ

ウソの名前の由来は口笛を意味する古語「うそ」だとか。鳴き声が口笛に似ているそうだ。木の实や木の芽、虫などを食べ、時にソメイヨシノのつぼみが好物と。

ツグミは落ち葉の下に潜んでいる虫を探すため、嘴でひっくり返す↓

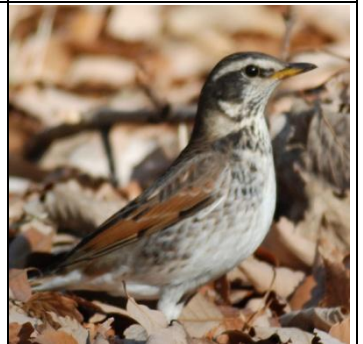


オオイヌノフグリ



ホトケノザ

日当たりのよい場所で花を咲かせているホトケノザ。
オオイヌノフグリは早春から花をつける。虫が来ないこともあるから、夕方花を閉じる前にオシベをメシベにつける



ツグミ